

介護保険制度改革と 勝ち残る 介護サービス事業戦略

「制度改革が小幅に留まった」との安心は禁物。
「大改革が始動した」と捉えるべきである!

介護保険制度に精通する小濱道博氏が
制度改革・報酬改定に
向けた事前対策を
わかりやすく解説。

「介護保険ビジネス」解説の決定版

「介護保険制度の見直しに関する意見」から読み取る大改革への布石とは?
近未来を見据えて勝ち残る介護サービス事業者になるために!

3/17 13:00
金 17:00

会場●明治記念館 講師●小濱道博氏



次 期介護保険制度の改正は小幅と言われていますが、今後の大改革に向けた布石であることを知るべきです。昨年末に取りまとめられた社会保障審議会・介護保険部会による「介護保険制度の見直しに関する意見」では、自己負担2割の拡大や高所得者の1号保険料の引き上げなどの結論を今夏まで先送り、軽度者の生活援助を総合事業へ移管することやケアプランの自己負担化などは結論が3年後まで持ち越されました。そのため「重要論点は先送りされた」と報道されていますが、意見書には近未来の大改革に向けた布石が散りばめられています。たとえば、介護保険の負担を40歳以上から「30歳以上」へと引き下げることや、介護保険サービス利用の対象者を65歳以上から「70歳以上」へと引き上げる等の論点です。いわば、介護保険制度の大改革に向けた議論がスタートしたのです。

大改革を前に、介護サービス事業者が今後も生き残っていくためには、どのような対策を講じるべきでしょうか?

本セミナーでは、介護保険制度に精通し、各省庁の審議会動向も常に把握されている小濱道博氏から、制度改革の主要項目を詳しく解説いただくとともに、大改革時代を見据えて介護事業者が採るべき経営戦略についても言及していただきます。

開催日

2023年3月17日(金) 13:00~17:00

会場

明治記念館

東京都港区元赤坂 2-2-23 ☎03-3403-1171(代)

※詳しい会場案内図は参加証にてお知らせいたします。

参加費(テキスト・コーヒー代含む)

55,000円/1名様 ※消費税及び地方消費税を含む

●同一申込書にて2名様以上参加の場合

48,400円/1名様につき ※消費税及び地方消費税を含む

主催

総合ユニコム(株)企画事業部

☎03-3563-0099(直通) 東京都中央区京橋2-10-2 ぬり彦ビル南館6階

FAXで
お申込み

左下の申込用紙へ記入し、下記フリーダイヤルへFAX願います。

☎0120-05-2560 (不通時はFAX.03-3564-2560)

ネットで
お申込み

下記URLへアクセスして弊社ホームページよりお申込みできます。

<https://www.sogo-unicom.co.jp>

FAX用 参加申込書 「介護保険制度改革」と勝ち残る介護サービス事業戦略

会社名(フリガナ)	貴社業種
所在地(〒)	振込予定日(月 日) 当日現金支払い希望... <input type="checkbox"/> ご担当者名()

TEL ()	FAX ()
出席者① 氏名(フリガナ) E-MAIL	所属部署・役職名
出席者② 氏名(フリガナ) E-MAIL	所属部署・役職名

●お申込み方法

- ・左記「参加申込書」にご記入後、上記FAXにてお申込みください。参加者宛に「参加証/請求書/銀行振込用紙」をご郵送いたします。「参加証」は当日ご持参いただき、会場受付に「お名刺1枚」と共にお渡し願います。
- ・開催直前や当日のお申込みもお受けいたします。その場合は、FAXにて「参加証」をご送付いたしますので、必ずFAX番号の明記をお願いいたします。なお、お支払方法につきましては、別途ご連絡をさせていただきます。

●参加費のお支払について

- ・参加費は「請求書」到着後、原則として開催3営業日前迄にお振込み願います。
- ・お振込みが開催後日になる場合は、左記「振込予定日」欄にご記入ください。
- ・お振込手数料は貴社にてご負担願います。
- ・当日現金でのお支払いも可能です。「当日現金支払い希望」欄に印をご記入願います。

●お申込者が参加できない場合について

- ・代理者にご出席いただけます。既送の「参加証」と「代理者のお名刺1枚」をご持参のうえ、当日会場受付までご来場ください。

●キャンセルについて

- ・開催3営業日前(土日祝日、年末年始を除く)迄に、弊社宛に「会社名/氏名/電話番号/返金先銀行口座(振込済みの場合)」を明記の上、FAX.03-3564-2560宛に必ずご連絡ください。
- ・返金手数料として3,000円(1件毎)を申し受けます。なお、開催2営業日前以降のキャンセルにつきましては、全額をキャンセル料として申し受けます。その際には当日配布資料を参加者宛にご送付いたします。

●その他ご連絡事項

- ・お座席は受付順を基本に当方にて指定させていただきます。
- ・会場内は禁煙です。講演中の録音・録画、携帯電話等での通話はお断りいたします。
- ・講演中のPCの使用は可能ですが、使用に関しては周囲へのご配慮願います。
- ・ご記入いただいた個人情報は、弊社商品案内ならびにセミナーの適切な運営、参加者間の交流促進のために利用させていただきます。
- ・主催者や講師等の諸般の事情により、講師変更や開催を中止する場合がございます。その際には弊社より参加者にご連絡させていただきます。
- ・開催中止の場合は受講料を返金いたしますが、それ以外の理由では返金できません。また、開催中止の際の交通費の払い戻しやキャンセル料の負担はいたしかねます。

「介護保険制度改革」と 勝ち残る 介護サービス事業戦略



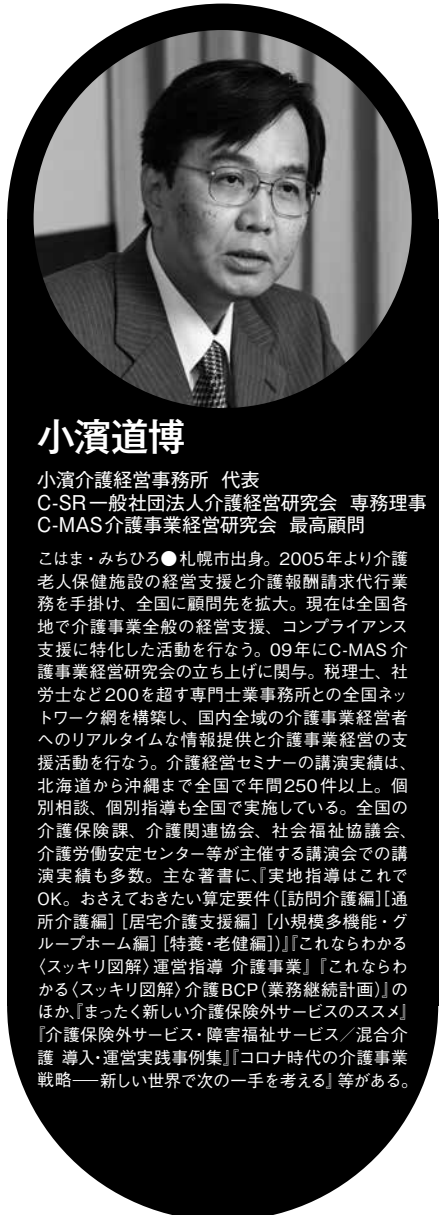
PROGRAM

※1時間ごとに休憩を挟みます

介護保険制度改革の主要項目と 大改革に備えた経営戦略を徹底解説

- 介護保険部会「介護保険制度の見直しに関する意見」の全解説
- 12年ぶりに「新サービス」創設
- 訪問介護と通所介護の「複合サービス」の考察
- 予防ケアプランを居宅介護支援に解禁
- 全サービスに「財務諸表の公表」を義務化
- 既存サービスの統廃合が加速
- LIFE (科学的介護情報システム) に訪問介護、居宅介護支援を追加へ
- 特別養護老人ホームの「特例入所」の見直し
- 最大注目「介護助手制度」による緩和措置
- 「管理者常勤規定」の見直し
- 「ケアプラン情報連携システム」への期待
- 「自己負担2割」の対象拡大は今年結論へ
- 介護老人保健施設の「多床室料の自己負担」も実現へ
- 「介護保険対象年齢を70歳以上へ」の議論が始まる

※その他、セミナー開催時点での最新情報を網羅して解説いたします。



小濱道博

小濱介護経営事務所 代表
C-SR一般社団法人介護経営研究会 専務理事
C-MAS介護事業経営研究会 最高顧問

こはま・みちひろ ●札幌市出身。2005年より介護老人保健施設の経営支援と介護報酬請求代行業務を手掛け、全国に顧問先を拡大。現在は全国各地で介護事業全般の経営支援、コンプライアンス支援に特化した活動を行なう。09年にC-MAS介護事業経営研究会の立ち上げに関与。税理士、社労士など200を超す専門士業事務所との全国ネットワーク網を構築し、国内全域の介護事業経営者へのリアルタイムな情報提供と介護事業経営の支援活動を行なう。介護経営セミナーの講演実績は、北海道から沖縄まで全国で年間250件以上。個別相談、個別指導も全国で実施している。全国の介護保険課、介護関連協会、社会福祉協議会、介護労働安定センター等が主催する講演会での講演実績も多数。主な著書に、「実地指導はこれでOK。おさえておきたい算定要件(訪問介護編)」「通所介護編」[居宅介護支援編][小規模多機能・グループホーム編][特養・老健編]「これならわかる(スッキリ図解)運営指導 介護事業」「これならわかる(スッキリ図解)介護BCP(業務継続計画)」のほか、「まったく新しい介護保険外サービスのススメ」「介護保険外サービス・障害福祉サービス/混合介護 導入・運営実践事例集」「コロナ時代の介護事業戦略—新しい世界で次の一手を考える」等がある。

新型コロナウイルス 感染予防対策を実施しています

総合ユニコムでは、新型コロナウイルス感染予防対策に取り組み、セミナーを開催いたします。ご参加のお客様におかれましては、会場での手指の消毒の励行、ならびにマスク着用をお願い申し上げます。

お問合せ先

総合ユニコム(株) 企画事業部

〒104-0031
東京都中央区京橋2-10-2
ぬ利彦ビル南館6階
☎ 03-3563-0099(直通)

ダイレクトメールの送付先変更・中止は、お手数ですが、封筒ラベルにご要件を記入の上、弊社企画事業部(FAX.03-3564-2560)迄ご連絡ください。

小濱講師による「介護保険ビジネス」セミナー受講者の主な声

- 資料が整理されていて、話し方もとてもわかりやすかった(公益団体)
- 制度改革に向けて今すぐ取り組むべきことが理解できた(医療法人)
- 説明されるポイントがわかりやすく、社内への通知が実施しやすい(民間介護)
- 中身が濃く、時間があっという間に過ぎた。課題解決の糸口が見えた(民間介護)
- 国の方針や公表資料の見方など、とても参考になった(アドバイザー)
- 時系列で流れをよく知ることが、将来事業の強化につながるとう理解できた(民間介護)
- 先を見据えた内容の話を知ることができ、とても勉強になった(民間介護)
- 最新の情報、国の動きがよく理解でき、今後の事業再構築に有益だった(社会福祉法人)
- 今後の方向性・ビジネスモデルを考えるうえで非常に参考となった(医療法人)
- 時系列に沿った流れで説明していただき、非常にわかりやすかった(電鉄会社)
- 現在の介護政策や事業の現状が色々聞けて勉強になった(医療法人)
- 加算を取れない事業者は今後淘汰されることを学んだ(民間介護)